

Thanks for joining us!
Did you feel the warmth?
I hope you enjoyed it.

I'll see you again ;)

非売品

美作三湯芸術温度

展示作品集 2019



展示作品集 2019



美作三湯
芸術温度

Three hot springs of Mimasaka
Art temperature

EXHIBITION

「美作三湯芸術温度」 —温泉 × アート 進化するカタチ—

キュレーター

岸本 和明 (奈義町現代美術館 館長)



撮影：草加和輝

日本有数の温泉地である湯原、奥津、湯郷の“美作三湯（みまさかさんとう）”の温泉宿等にアーティストの作品を展示し、それを人が巡ることで、この地域ならではの新たな魅力の発見や交流の場に繋げていく「美作三湯芸術温度」。

第2回目となる今回は、2019年10月5日から2020年1月13日の約三ヵ月間に亘って開催しました。前回に比べ規模を拡大し、「岡山」を意識した作家で構成し、ベテランだけでなく実績のある若手も加え、全体的に厚みと新鮮さを打ち出しました。温泉宿側も、前回の経験から深く理解を示して下さり、大変協力的に対応していただきました。

また、観に来られた方も「芸術温度」を通じて、美的好奇心を呼び覚ます機会となり、アート作品と温泉地の持つエネルギーが人々の美意識に働きかけ、一体的に場を作り上げて下さったと思っております。

アートは、今では暮らしの中で身近に存在するものとなり、接する機会が増えています。アートは、モノの見方や感じ方を確実に変えてくれます。大きな括りであれば、アートが変わるのは世界の見方と言っても決して過言ではありません。

「芸術温度」が、美作地方の場所や空間という「点」を「線」で結んで、人の交流によって「面」にしていき、今後、更に近県も絡め人と人との大きな交流を伴ったものに発展、成長していくことを願っています。

「芸術温度」開催に当たり、参加温泉宿関係者、参加アーティスト、関係各位、団体等に格別なるご理解、ご協力を賜りましたことを深く御礼申し上げます。

❖参加アーティスト❖

青地大輔
居森幸子
上西竜二
榎真弓
太田三郎
大間光則
尾崎雅子
檜尾聡美

金重晃介
北川太郎
児玉知己
小林正秀
柴川敏之
芝山昌也
炭田紗季
杉浦慶侓

高松明日香
高本敦基
徳持耕一郎
東島毅
松岡徹
宮崎郁子
森山知己
山部泰司



青地 大輔

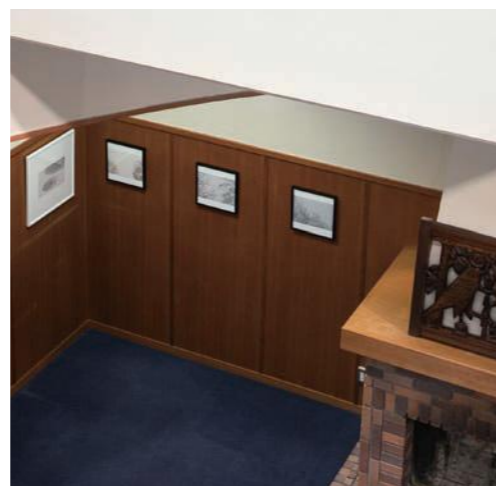
あおち だいすけ



鏡野から蒜山エリアでスノートレッキングをしながら撮影した作品を展示させていただきました。例年ですと展示会期が終わる頃には見ることできた美しい景観なのですが、昨年に引き続き積雪量が少なくまだその様子を本格的に楽しむことはできません。温泉とともに雪に包まれた岡山県北エリアの美しい景観も多くの方に楽しんでいただけたなら幸いです。

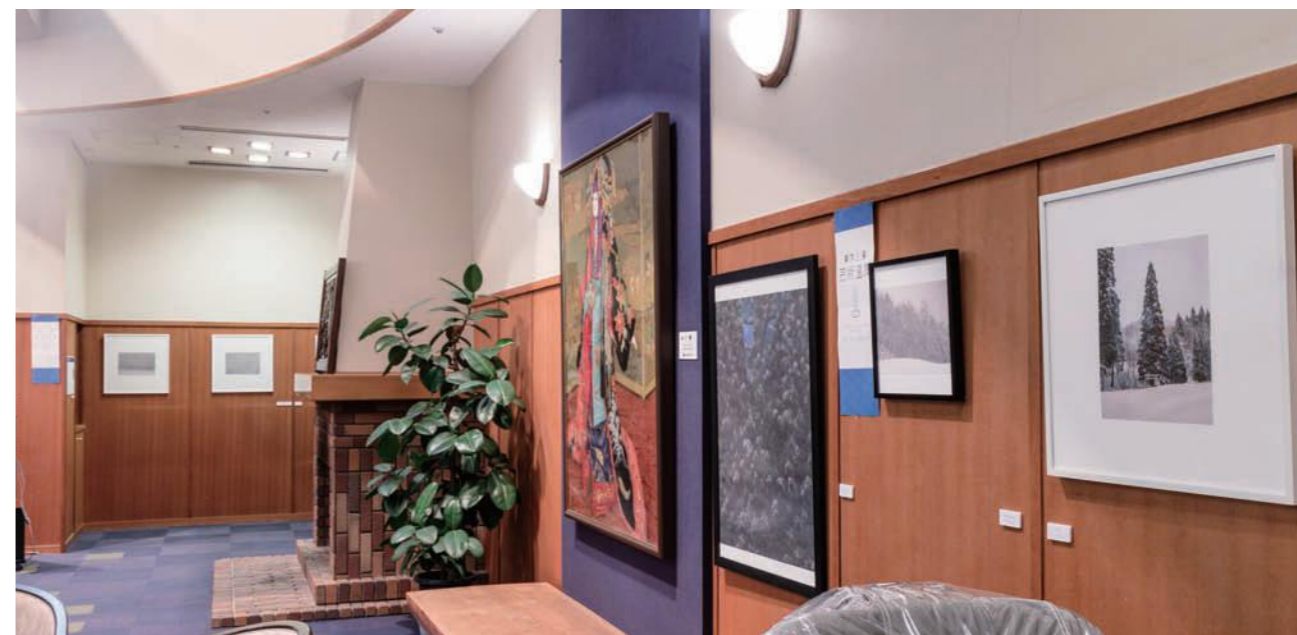
略 歴

- 2003 個展「青地大輔展」(奈義町現代美術館/岡山)
- 2004~2016 アートプロジェクト犬島時間を企画・主催
- 2009 岡山芸術文化賞功労賞 (犬島時間)
- 2013 福武文化奨励賞
- 2013 岡山市文化奨励賞



国民宿舎 いつき ☎0868-44-2331

中国山地の大自然に抱かれ、湯の谷川のせせらぎを心地よく聞きながら、ゆったりと天然温泉を満喫。四季を通じて日本の原風景をお楽しみください。



《snowscope (2016-2018)》

居森 幸子

いもり さちこ



有機土や手すき和紙を使い、天然素材の息遣いを汲み取って制作した15点の作品を湯の蔵つるやさんに展示させていただきました。

解放された茶室には和紙作品を、廊下の壁面には岡山県北で採集した土や岩石を絵具に加工して描いた湯原の森や岸辺に住む生きものの姿を近隣の杉板を基底として描きました。

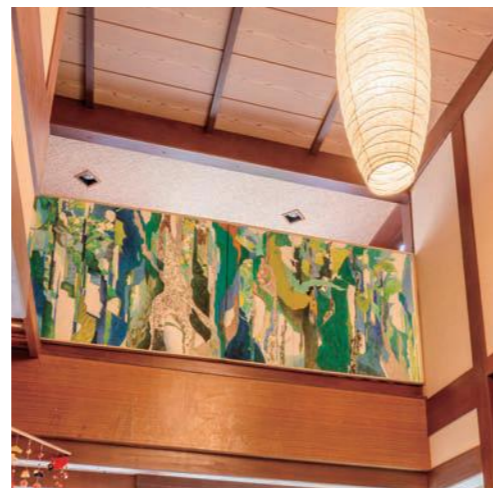
ご観覧の皆様は湯原温泉、つるやさんの温かいお湯と、おもてなしの憩いのひとときに、作品を楽しんでいただけたならば幸いです。

略 歴

- 2009 損保ジャパン美術財団選抜奨励賞 (東郷青児美術館 / 東京)
- 2009 高橋秀監修 - 居森幸子展 (淳風会ガレリア・アリエッタ / 岡山)
- 2009 個展「光の連譜」(奈義町現代美術館 / 岡山)
- 2011 ユルスリーヌ塔 - フレスコ壁画制作 (オータン市 / フランス)
- 2014 素材との出会い展 (岡山天神山文化プラザ / 岡山)
- 2016~2018 個展「白夜の庭」(軽井沢アートの泉 / 長野)
- 2018 個展「はじまりの和紙」(奈義町現代美術館 / 岡山)

湯の蔵 つるや ☎0867-62-2016

元酒蔵の趣ある和室造りのお宿。美味しいお酒とそれに合うお料理をお楽しみいただけます。



《パノラマ 樹栄》



《発掘された果実 I》



左上《耕》 右上《発掘された果実 I》
下《月光を浴びて》

上西 竜二

うえにし りゅうじ



今回展示した作品は会場のにしき園に初めて伺った時の印象を元に「和」をイメージして選択したものです。それに加えて、過去、個展に出していない個人蔵のものを幾つかお借りして展示しました。

初めての温泉旅館での展示という事で出来るだけ作品が見やすいように会場作りを工夫しました。これまで私の絵を見た事のない沢山の方に、間近で実物を見て頂き感謝しております。

展示の機会を与えて下さりありがとうございました。

略 歴

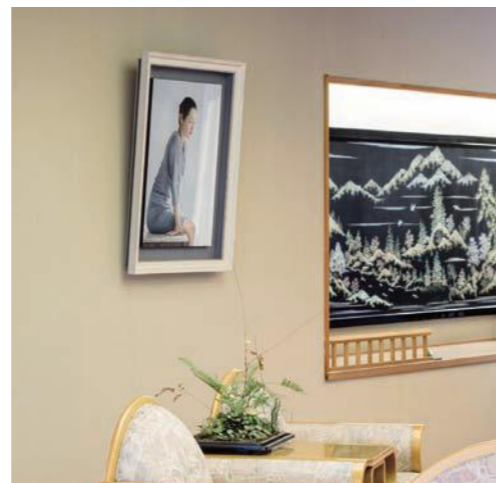
- 1999 岡山大学教育学部卒業
- 2001 広島市立大学大学院絵画専攻（油絵）修了
- 2009 第2回岡山県新進美術家育成「I氏賞」奨励賞
- 2011 個展「真実」（奈義町現代美術館／岡山）
- 2016 個展「Trial&Error」（塩江美術館／香川）
- 2017 個展「描く」（華鶴大塚美術館／岡山）

花の宿 にしき園 ☎0868-72-0640

中庭の見える開放感のあるロビーは、アロマの香りが漂い癒やされる空間。季節の生花が随所に生けられ、女将の押し花絵が館内を彩ります。



《桜の舞う季節》



《日影の器》



左上《尻に敷かれるのもそう悪くない》右上《いのち輝かせよ》
左下《序》《竜のカップとブロンズの天使の静物》右下《古代の丘》

榎 真弓

えのき まゆみ



日々の営みのかさなり、そしてそのあいだにある気配や陰影と対話しながら、その現れを「版」を主とした手法で制作しています。今回は旧作とともに、自宅と会場間の距離に相当する11,000mの糸を巻き、腐食した銅版をプリントした新作を展示しました。竹亭さんとのコラボレーションの象徴として、遠くにいるあの人はいま何をしているのだろう、という想いに重ね合わせながらご覧いただけたならば幸いです。

略 歴

- 1990 Royal College of Art, Printmaking Course(MA RCA) 修了
- 2009 「浜口陽三生誕100年記念銅版画大賞展」(ミュゼ浜口陽三ヤマサコレクション／東京)
- 2010 第11回岡山芸術文化賞準グランプリ
- 2014 「それらのあいだにも。」(岡山天神山文化プラザ／岡山)
- 2017 「London Summer Intensive Showcase」(Camden Arts Centre／イギリス)
- 2019 「I am remembering why we are thinking about it」(瑞雲庵／京都)

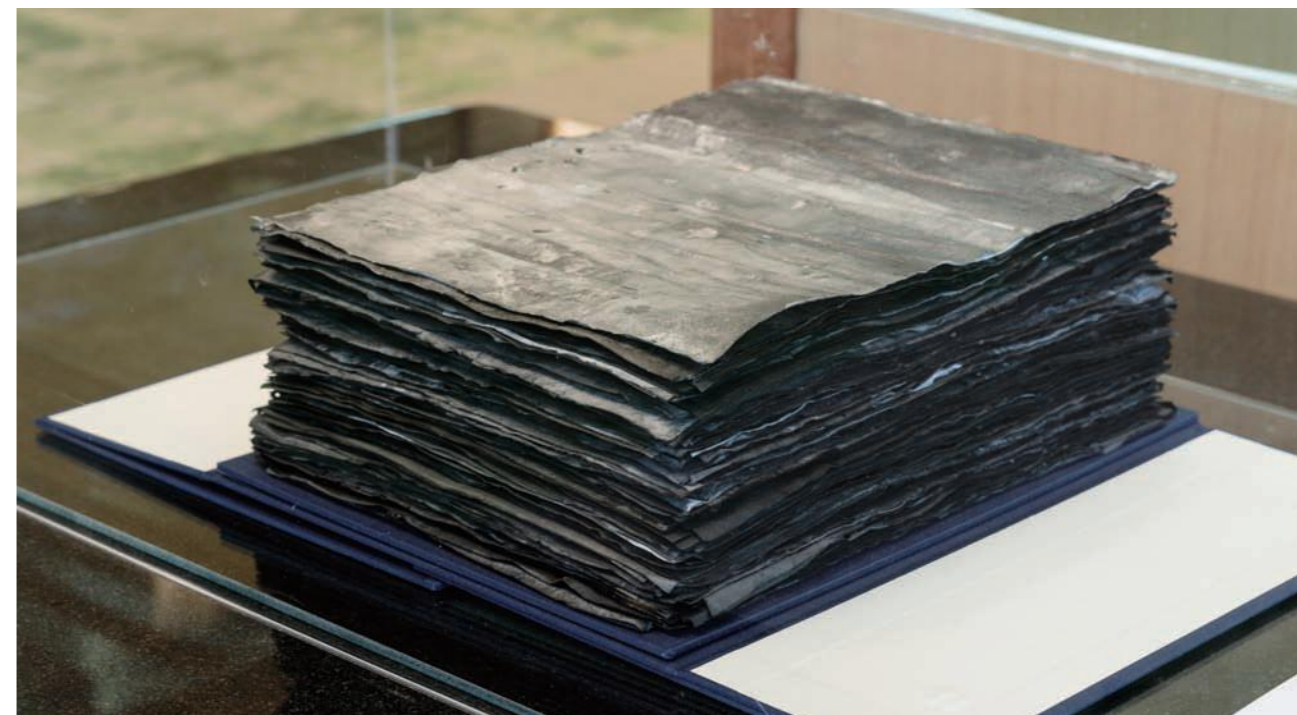
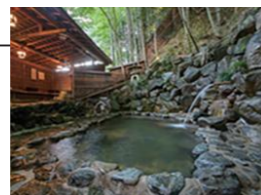


《Bind and String #2》



やさしさの宿 竹亭 ☎0868-72-0090

“やさしさの宿竹亭”は、湯郷温泉の高台に位置し、風の館7階の展望浴場からは湯郷の四季を彩る山々が見渡せます。



左上《Bind and String #3》 右上《Bind and String (c.p.-011)》

下《As for g, and #5》

太田 三郎

おおた さぶろう



私の展示会場「奥津荘」は、昭和初期の木造建築で登録有形文化財です。落ち着いた風情のロビーと離れの客室の雰囲気が特に素晴らしい。昭和20年代に度々訪れたという棟方志功ほか文人墨客の書画を多数所有しており、それらの作品を素材にした新作を、棟方作品に並べて置かせて貰いました。

本館2階の客室にはあえて洋風の、パリの薔薇の作品を展示。「美作三湯芸術温度」の観客が宿泊したくなるような空間づくりをめざしました。

略 歴

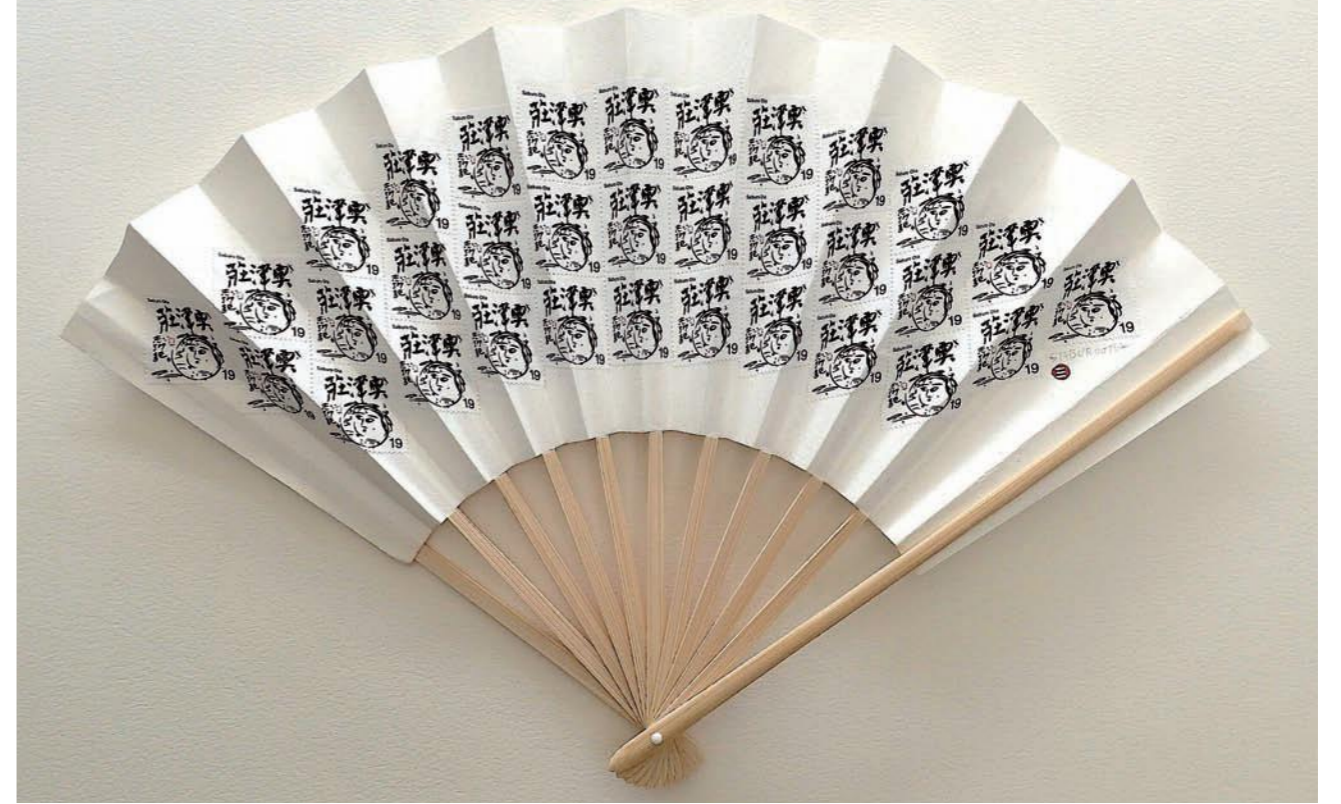
- 2008 「太田三郎 HIROSHIMA 1990-2008」
「有隣荘・太田三郎・大原美術館」(大原美術館/岡山)
「太田三郎-日々」(山形美術館/山形)
- 2013 第4回 創造する伝統賞
- 2014 「太田三郎 2010-2014」(奈義町現代美術館/岡山)
- 2016 第74回 山陽新聞賞【文化功労】、第17回 福武文化賞
- 2019 「太田三郎-此処にいます」(岡山県立美術館/岡山)

名泉鍵湯 奥津荘 ☎0868-52-0021

極めて優秀な自家源泉を有する奥津荘。温泉本来の効能を全身で感じることで、その圧倒的な癒やしをご体感ください。



展示風景 (本館ロビー)



上《奥津荘扇-1》
下 左から《Julienne》《Élisabethe》

大間 光記

おおま みつのり



日帰り温泉施設は様々な人が癒しや休息を求めて訪れる場所です。

今回の展示では「足踏み洗濯」という奥津温泉ならではの風習と「花美人の里」という名称からインスピレーションを受け、直に体感する事で楽しんでもらえる様な彫刻を制作しようと考えました。

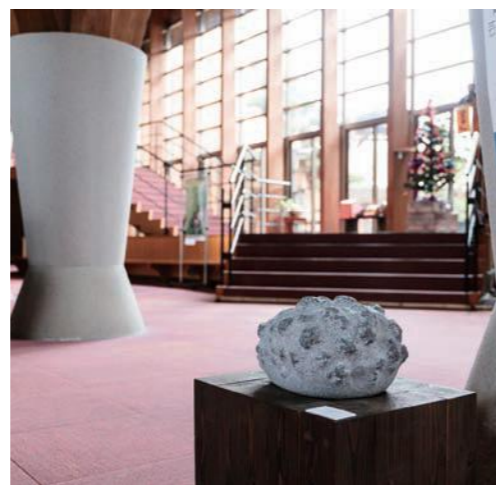
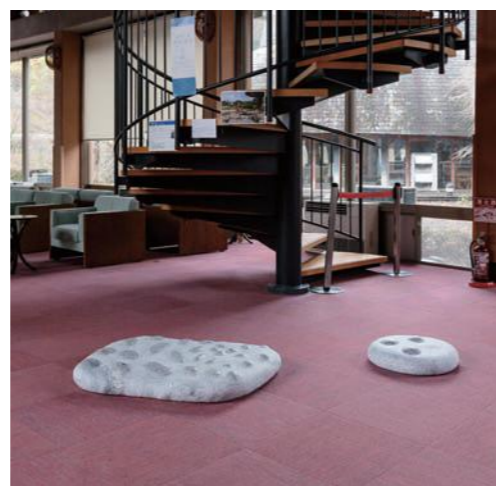
この彫刻は上に乗って足踏み洗濯の様にコブを踏んで直に足裏からみなさんの足ツボを刺激し、身も心も美人になってリフレッシュしてもらおうという試みの彫刻です。

略 歴

- 2013 Light(/&)Shadow vol.0 (casa VIENTO/ 沖縄)
- 2014 個展 (清和堂スペース / 岐阜)
- 2014 二人展 (板室温泉 大黒屋 / 栃木)
- 2015 石彫の現況 2015 (長泉院附属 現代彫刻美術館 / 東京)
- 2019 岡山現代彫刻の断片 vol.3 (奈義町現代美術館 / 岡山)
- 2019 個展 (なうふ現代 / 岐阜)

花美人の里 ☎0868-52-0788

奥津温泉の中心に位置する、木をふんだんに使用したリラックス空間。大浴場にはジェットバス、露天風呂、サウナなどがあり、刺激が少ないアルカリ性単純温泉は、老若男女問わず親しまれています。



《はじまりのかたち》



《びじんにする彫刻》

尾崎 雅子

おざき まさこ



「無い」という感覚が表現できたらと思い、ガラスと金属で空中に絵を描くような感覚で制作しました。それは『空(くう)』の感覚を見つめるものです。

今回は、かつてあったけれど今は無くなったことに気付く「Sense of loss」の感覚も大切にしています。

それらは寂しいものではなく、美しいものであって欲しい、そして私の作品を通して心の中にある景色を呼びだし、投影していただくことができたらと願っています。

略 歴

- 1996 岡山大学教育学部特美課程 卒業
- 2007～ 岡山市立オリエント美術館ステンドグラス教室講師
- 2012～ 広島三越 美術 個展 (毎年開催)
- 2018 天満屋岡山店 美術 個展

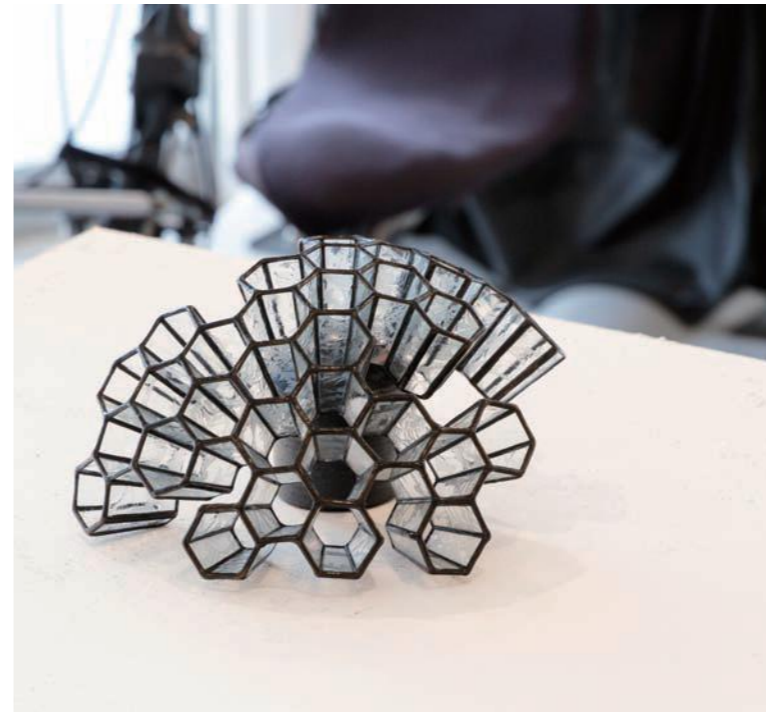
建築物にステンドグラス施工多数

- ・中津川教会 (中津川市)
- ・キューティパイクラブ (岡山市 旧陸軍社交クラブ) など

奥津温泉 米屋倶楽部

☎0868-52-0016

奥津温泉街の高台から見渡す奥津の景観と四季折々の食、自家泉源のいで湯が皆様をお待ちしています。



左上《Blank Pages》 右上《還る途中》
左下《Absence》 右下《紙のふくろ》

樫尾 聡美

かしお さとみ



細胞の1つ1つを模様として捉え生命の内側を覗いてみると、そこには驚く程美しい装飾が潜んでいます。故に人は装飾を見たときに、普段は皮膚に覆い隠されて見えない生命の内側を直感するのではないだろうかと考え日々制作を行っています。宿の屋号である「米」に込められたもてなしの心と、温泉に浸かる心地良さをイメージしてお客様をお迎えする大きなテキスタイルを染めました。

略 歴

- 2010 多摩美術大学大学院テキスタイルデザイン研究領域修了
- 2012~2017 岡山県立大学デザイン学部助教
- 2014 第7回岡山県新進美術家育成「I氏賞」奨励賞
- 2015 個展「アペルト 2 樫尾聡美—生命の内側にひそむもの」(金沢21世紀美術館/石川)
- 2016 第17回岡山芸術文化賞・グランプリ
- 2018 I氏賞受賞作家展「かたちを見つめて」(岡山県立美術館/岡山)

ゆばらの宿 米屋 ☎0867-62-3775

白壁と格子窓、なまこ壁、現代によみがえる宿場町の佇まい。露天風呂付客室『KAEDE』も人気です。岡山が誇る「千屋牛」を用いた会席料理に定評あり。少グループから送迎バス付きプランもあります。



右上《たゆたふ》
下《粒の中》

金重 晃介

かねしげ こうすけ



釉薬を使わないでただ焼締めるだけ、土肌をそのまま見せる、これが備前焼の魅力です。土がいろいろな表情を見せてくれるからです。土の持つ生命力をいかに引き出すか造形・窯詰め・焼成 この三つが最大のポイントです。造形・焼成には原材料の「土」が、窯詰めと焼成には「窯の構造」が大事です。最近になって思うことですが「土に素直に」「火に素直に」という先人の言葉がありますが、他人の評価等邪念なく土と向かい合って制作したいと考えています。

略 歴

- 1968 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業
- 1992 日本の工芸「今」100選展出品 (エトワール美術館/パリ)
- 1994 日本陶磁協会賞
- 1995 山陽新聞文化賞
- 2006 岡山県文化奨励賞
- 2014 岡山県文化賞



《少女時代》

池田屋 河鹿園 ☎0868-52-0221

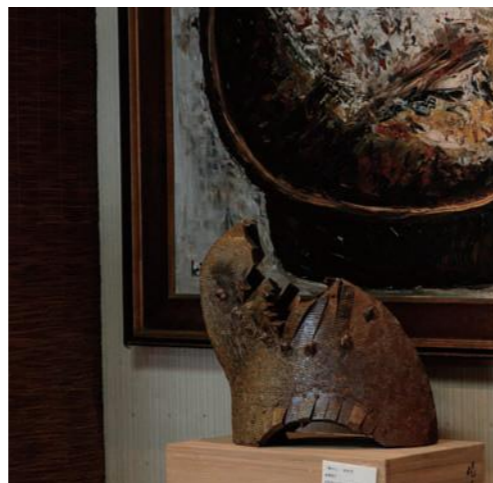
源泉掛け流しの温泉から見渡す吉井川の景色は絶景。吉井川のせせらぎといで湯が身も心も癒やしてくれます。



東和楼

☎0868-52-0031

昭和三年創業、木造三階建ての宿。地下道を通り川の方向へ進むと、当館を一躍全国区に押し上げた岩風呂がございます。



《海から》



左上《少年時代》 右上《聖衣》
左下《万華鏡》 右下《花器》

北川 太郎

きたがわ たろう



厚さ3mmにスライスした石をひたすら積み重ねて造形化することにより、時間の可視化を試みた時空ピラミッドシリーズの作品を展示しました。展示させて頂いたポピースプリングスは多国籍な雰囲気のある所なので、明るい雰囲気、物語が展開しそうな作品となるよう心がけました。

略 歴

- 2007～2010 文化庁芸術家在外研修員（3年派遣員）
- 2010 個展「厚みある時間」（OSMA 美術館／ペルー）
- 2011 個展「時空の交点」（クスコ市立現代美術館／ペルー）
- 2012 個展「北川太郎帰国展」（ギャラリーせいほう／東京）
- 2016 個展「時間の可視化」（瀬戸内市立美術館／岡山）
- 2019 個展「手仕事信仰」（奈義町現代美術館／岡山）



ポピースプリングスリゾート&スパ

☎0868-72-7575

カリフォルニアミッションスタイル建築のリゾートホテル。南カリフォルニア風の造りと欧米の調度品が非日常感を演出します。温泉・アロマテラピーそして野菜にこだわっています。



《時空ピラミッド》

兎玉 知己

こだま ともき



僕が20代の頃に、ある温泉宿に泊まったことがある。その夜、夕食を食べ終えた後ロビーで寛ぎながら、この正面の壁に自分の作品があったら…みたいなことを話した記憶がある。

それから数年後、こんなタイミングでそれが実現するとは思ってもみなかった。

久しぶりに宿に挨拶に行くと、記憶通りの空間。絨毯の色、天井のレトロな照明、女将さん。"変わらない事"について静かに考えてみる。僕の作品もその変わらない流れの中にそっと置く事が出来たら…。

略 歴

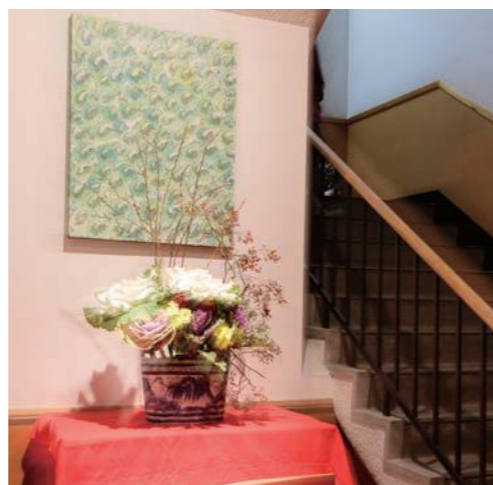
- 2011 第4回 岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞
- 2013 I氏賞受賞作家展「ふたりは“絵画する”」(岡山県立美術館/岡山)
- 2015・2017 総社芸術祭(宝福寺/岡山)
- 2017・2019 個展 (Esprit nouveau Gallery/岡山)
- 2018 「アートは今・岡山2018」展(天神山文化プラザ、高梁歴史美術館、華鶴大塚美術館を巡回)
- 2019 第25回エネルギー美術賞

湯快感 花やしき ☎0867-62-3341

アットホームで気取らない心からのおもてなしのお宿。屋上にある露天風呂は、開放感があり、カップルやファミリー層の方にとっても人気です。



《untitled》



《すべてはこうしてできているNo.2》



左上《喜びの時間》 右上《untitled》
下 左から《symbol No.2》《symbol No.3》《symbol No.1》《紅白景》

小林 正秀

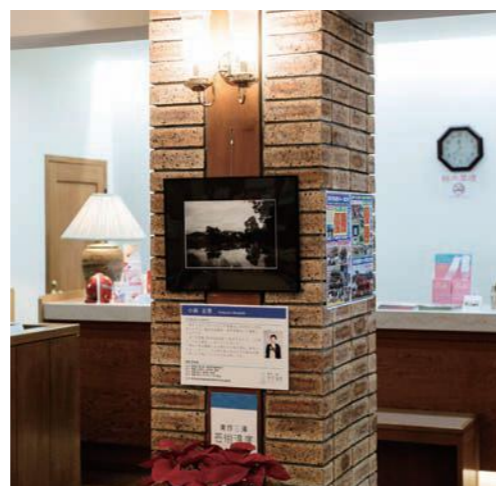
こばやし まさひで



人は眠っている間、覚えているかどうかは別として、必ず夢を見るという話を聞いたことがあります。それならば、宿泊施設へ向かう途中で見た風景も、その夢に出てくるのではないか？そんな事を思いながら、今回の展示内容を決めました。実際に見た温泉郷への道中の風景と、モノクロームの写真で見た美作の風景。もし、誰かのホテルで見た夢の中に、自分の写真も登場してくれていたなら、とても幸いに思います。

略 歴

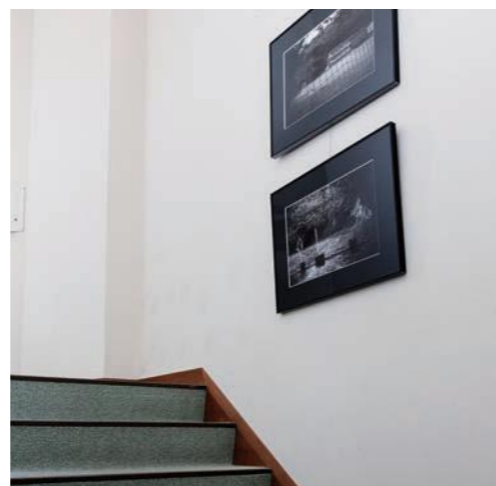
- 2015 美学校・岡山校 銀塩写真講座終了
- 2016 第9回岡山県新進美術家育成「I氏賞」奨励賞
- 2017 個展「土を踏む」(蒼穹舎/東京)
- 2018 個展「美作」(蒼穹舎/東京)
- 2019 個展「美作」(ギャラリー722/岡山)



森のホテル ロシュフォール

☎0867-62-3939

名湯「湯原温泉」の高台に佇む、リゾートホテルとコテージ。ペット専用のコテージをはじめ、露天風呂、サウナ、ジャグジーを備えたリゾートホテルです。



全て『Drifting Clouds』より (2015)

柴川 敏之

しばかわ としゆき



2000年後に発掘された温泉遺跡をテーマに、この旅館と接続のカフェを「2000年後の温泉ミュージアム」と想定し、41世紀の温泉遺跡からの出土品を展示しました。湯郷温泉は約1200年前に慈覚大円仁法師が白鷺に導かれ発見したと伝えられ、別名「鷺の湯」と呼ばれる名湯です。折り鶴を鷺に、キューピー人形を湯郷温泉に入っていた人々に見立て、この地での現代人の生活や営みの様子を表しました。

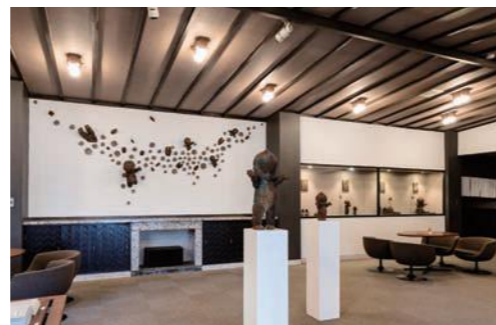
略 歴

- 2017 「アートの旅人たち」(BB プラザ美術館/兵庫)
- 2018 「六本木アートナイト 2018」(三河台公園/東京)
- 2018 「VOLTA14」(ELSÄSSERSTRASSE/スイス)
- 2018 「タイムトラベル」(和歌山県立近代美術館/和歌山)
- 2018 「ぼくのおくさん☆柴川敏之展」(つなぎ美術館/熊本)
- 2019 「未来考古学 | 柴川敏之・涂維政」(徳鴻画廊/台湾)

湯郷温泉 かつらぎ

☎0868-72-1555

地元食材を使った『豪華でなくても温かい』お料理や、貸切露天風呂「月の湯」、宿前のカフェや梅酒バー、エステやヨガ体験など楽しみ方いろいろ♪



《2000年後の温泉ミュージアム》



《2000年後に発掘された白鷺の化石》



写真作品 《2000年後の温泉遺跡の遺構》



《2000年後の温泉遺跡 | PLANET REMAINS》

芝山 昌也

しばやま まさや



会場となる宿の庭を初めて見たときに、自然との境界の佇まいが印象に残りました。それなら土地をまもる道祖神のような彫刻をと考えました。道祖神は自由奔放な造形で今でも各地に残っています。それはとても豊かなものです。この彫刻は日本古来の造形方法、籠（かご）細工から着想を得て、籠に古い着物やトタンを結びつけました。数ヶ月経ってこの道祖神に再会したとき、私は遠い他者の「祈り」を少し見つけたような気がしました。

略 歴

- 2000 金沢美術工芸大学大学院博士後期課程修了
- 2001 ポーラ美術振興財団 若手芸術家の在外研修員で渡米
- 2009～2018 越後妻有アートトリエンナーレ
- 2012～2015 KAMIKOANI プロジェクト秋田ディレクター
- 2017 個展「とおい近景」(奈義町現代美術館／岡山)
- 現在 金沢美術工芸大学 美術工芸学部 彫刻専攻准教授



ふくます亭

☎0868-72-6111

館内は「和」を基調にモダンな雰囲気です。「やすらぎと寛ぎ」を感じさせてくれます。自然と四季折々の移ろいをご堪能ください。



《ここからは私たちのところ》

炭田 紗季

すみだ さき



現代社会のなかに見られる多文化が複雑に入り混じった光景を絵画で表現することが主な制作ですが、それらの作品が、ホテルでありながら温泉宿で様々な様式の調度品に囲まれた湯郷グランドホテルに存在することで私たちが知っている“今”というものをより感覚的に捉えられると思います。

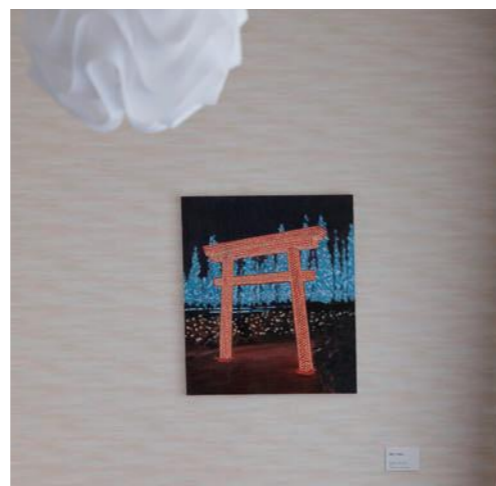
略 歴

- 2010 尾道大学大学院 美術研究科修了
- 2016 第9回岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞
- 2016 個展「庭の鉢植えは波をかぶらない」(吹上美術館/岡山)
- 2017 「アートは今・岡山 表装」(天神山文化プラザ/岡山)
- 2018 個展「枯れない花」(YUKA TSURUNO GALLERY/東京)
- 2019 I氏賞受賞作家展「あたらしい古典」(岡山県立美術館/岡山)

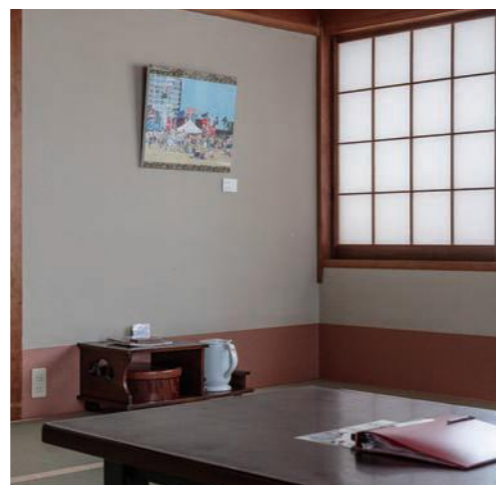
湯郷グランドホテル

☎0868-72-0395

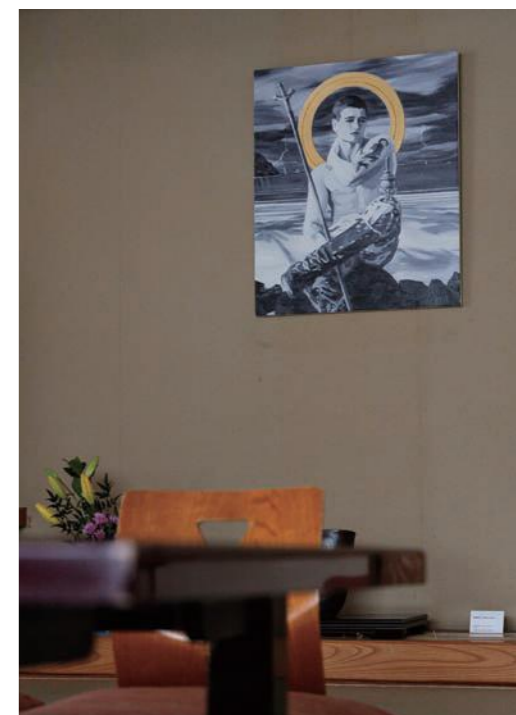
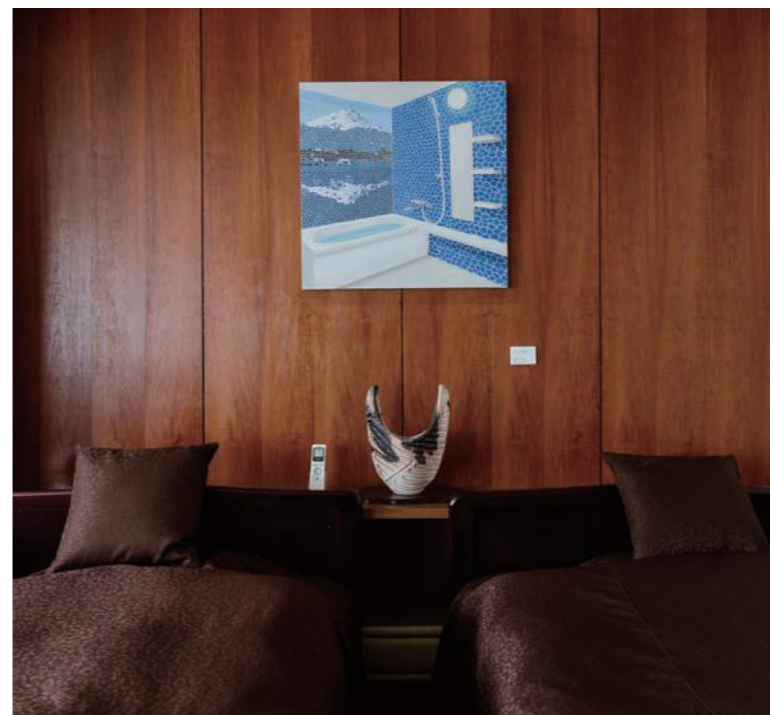
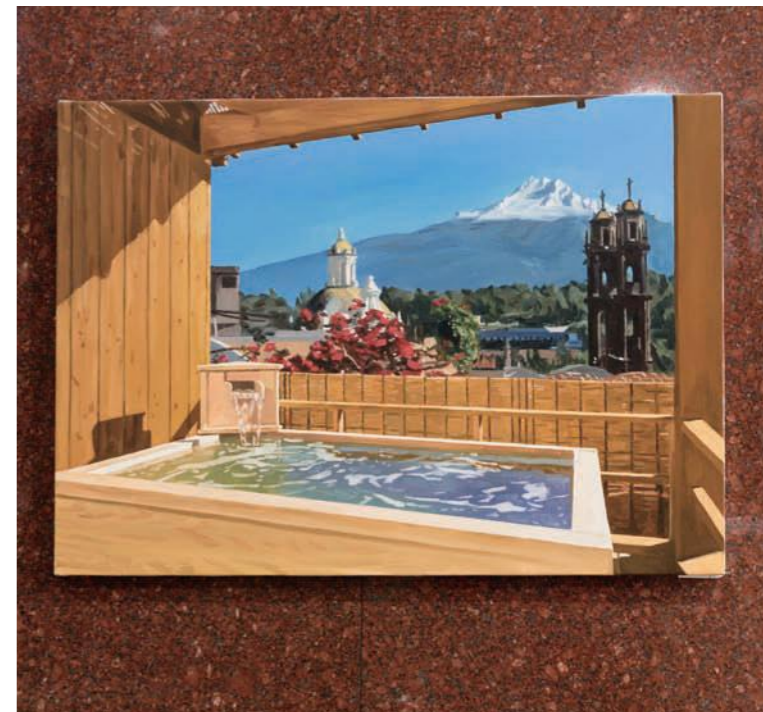
ロビーには生花や小川のせせらぎ、美味しくボリュームあるお料理と何度でも入りたくなる温泉など、お客様の心を和ませてくださいる空間があります。



《お祭り》



《富士山》



左上《恵比須神》 右上《Like the Fuji》
左下《バスルーム》 右下《毘沙門天》

杉浦 慶侘

すぎうら けいた



興味は「自然と人間の関係性」。

概念としての自然、人間は残酷さを内包しながらもどこまでも美しい。

しかしそれらが交わると途端に醜い〈幽霊〉がたちあがる。

目を背けるなよ。それが僕らの子どもだよ。

略 歴

都留文科大学国文学科修了

2009 第2回岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞

2010 福武文化奨励賞

2010 個展「農村の意匠」(奈義町現代美術館／岡山、京都万華鏡ミュージアム／京都)

2015 個展「春、死なむ」(CCCSCD／岡山)

2018 個展「 の しかた」(gallery CLASS／奈良、勝央美術文学館／岡山)

湯原国際観光ホテル 菊之湯

☎0867-62-2111

旭川と山の緑を全室より望める、全国露天風呂番付西の横綱「砂湯」のお膝元のお宿。ペットと泊まれるスイートYuYaも人気です。中国地方初のウェルカムベビー認定宿。



《月》



左上《神様の殺し方 No.11》 右上《新見山 No.5》
下 展示風景

高松 明日香

たかまつ あすか



前回の美作三湯芸術温度でも、ゆのごう館さんに作品を展示させていただきました。今回は少し違った雰囲気になりたいと考え、エントランスの上部やロビーにも作品を展示させていただき、作品に囲まれるような体験をしていただきたいと思いました。当初は客室に展示する予定だった作品も、より多くのお客様に見ていただけるようにとの旅館の方のご好意で食堂に展示させていただきました。参加させていただきました。ありがとうございました。

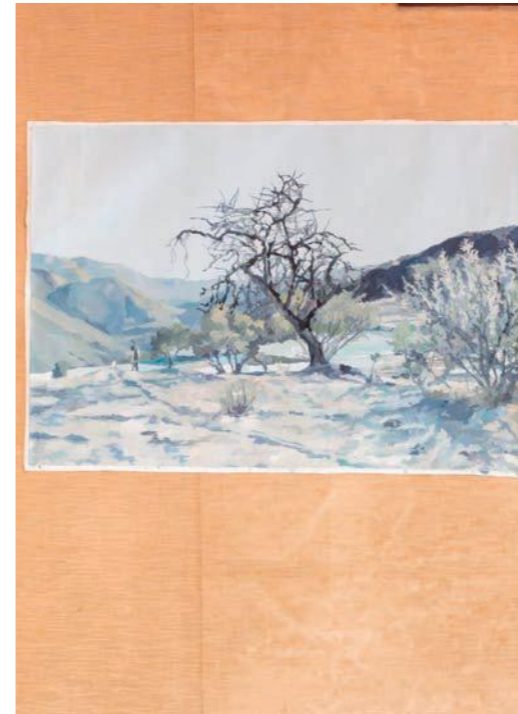
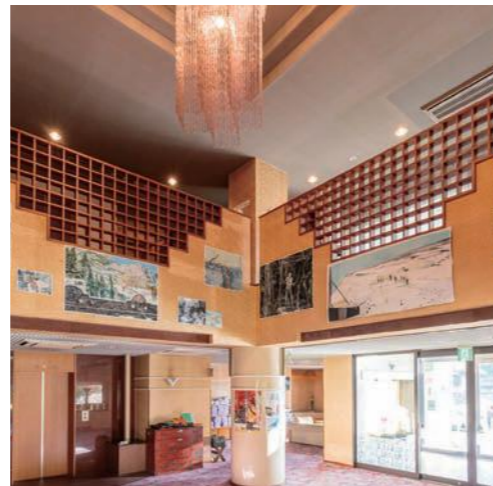
略 歴

- 2009 尾道市立大学大学院美術専攻デザインコース卒業
- 2014 第7回岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞
「高松明日香展 無形のライブラリー」(奈義町現代美術館/岡山)
- 2016 平成28年度 香川県文化芸術新人賞
- 2017 「高松明日香展 届かない場所」(三鷹市美術ギャラリー/東京)
- 2019 「高松明日香展 クラウディア」(香川県文化会館/香川県)

清次郎の湯 ゆのごう館

☎0868-72-1126

「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」料理部門に連続入選中。当館自慢の露天風呂では、広々と開放感に溢れた湯浴みをお楽しみいただけます。



《逃避途上の休息 2009-2019》

高本 敦基

たかもと あつき



作品は階下のホール、そしてロビー空間にて展示いたしました。

多くの方々がお越しになり、私宛にも直接ご感想をいただいた方もおられ、作家として楽しい期間となりました。

展示期間は厳しい寒さもありましたが、熱い心を持った池田社長をはじめ宿の方々は暖かく迎えていただき、訪れると心安らぐ時間となりました。

山々の風景は白銀から、もうすぐ新緑へと移っていきます。四季折々の湯原にまた、皆様も是非足をお運びください。

略 歴

- 2003 金沢美術工芸大学 油絵専攻 卒業
- 2005 フランス国立ナンシー美術大学 大学院 終了
- 2014 第17回 岡本太郎現代芸術賞 特別賞
- 2015 第15回 岡山芸術文化賞 グランプリ
- 2015 福武文化奨励賞

岡山県内では個展「組み立て式の社会」(奈義町現代美術館) 等多数展示を行っている。

ゆばらの宿 米屋 ☎0867-62-3775

白壁と格子窓、なまこ壁、現代によみがえる宿場町の佇まい。露天風呂付客室『KAEDE』も人気です。岡山が誇る「千屋牛」を用いた会席料理に定評あり。少グループから送迎バス付きプランもあります。



《Plane in life》



《組立式の日常について考えてみる》



インスタレーションビュー

徳持 耕一郎

とくもち こういちろう



2度めの参加になりますが、非日常の空間と言える温泉宿に更にアートが加わることで、意外性が重複し、観る方の興味をそそるのだと思います。

私も露天風呂の横にも置き、温泉という特殊な場での展示を積極的に遊びました。また特別に奈義のFIXAでも版画に特化した展示をし、トークショーも開催したりと多彩に参加出来たことが楽しかったです。

略 歴

- 1989 NYで木版画の個展開催
- 1993~ ジャズをテーマに「鉄筋彫刻」を制作
- 2001 Walt Disney Concert Hall に作品が置かれる
- 2001 展覧会 (奈義町現代美術館/岡山)
- 2010 展覧会 (あさご芸術の森美術館/兵庫)
- 2016・2019 「美作三湯芸術温度」参加



瀬音の宿

☎0868-52-0279

吉井川沿いにたたずむ民宿。自慢は、主人手作りの露天風呂です。源泉かけ流しで、内風呂もあり、1日1組限定でゆったりできます。



リゾートイン湯郷

☎0868-72-4019

緑豊かな奥湯郷の高台に佇む当館は、近辺に充実したスポーツ施設やゴルフ場があり、レジャーにスポーツ・ビジネスと全てのお客様に喜んでいただけます。



《建物と風景に溶け込む鉄筋彫刻》

東島 毅

ひがしじま つよし



縁あって住みはじめた岡山を、生活と制作の拠点としてから20年以上が経ちました。少しずつ気候や風土が身体のリズムに馴染んでいき、そこから自然と絵画が立ち上がっていることを実感するこの頃です。今回の展示では長年のテーマでもある、あいまいで留まらない一瞬を描いた作品2点を展示しました。何が描いてあるのかな、という想像とともに、皆様に楽しんでいただけたならば嬉しいです。

略 歴

- 1996 VOCA'96 VOCA 賞
- 1996 五島記念文化賞美術部門新人賞
- 2007 「東島毅 展 Selected Works 1988-2006」(岡山県立美術館)
- 2012 「東島毅—そのみず」(奈義町現代美術館/岡山)
- 2014 岡山県文化奨励賞
- 2015 「東島毅—キズと光」(大原美術館有隣荘/岡山)
- 2018 「guest room 003 東島毅-Dual」(北九州市立美術館/福岡)
- 2020 第78回 山陽新聞賞【文化功労】

ゆのごう美春閣 ☎0868-72-8111

湯郷温泉の高台に位置する県内最大級の温泉宿泊施設。ご年配の方から小さなお子様までお楽しみいただける本格和風旅館です。



《Untitled》



《Untitled (R.B.T.H)》



インスタレーションビュー

松岡 徹

まつおか とおる



2016年に行われた芸術温度に制作した作品を展覧会後も皆さんに大切にさせていただいてきました。今回湯原では足湯の施設に作品を、そして奥津の河鹿園の館内にも作品を置かせていただきました。街の方々の想いを感じながら、記憶の欠片、美しい自然や街の景色を組み合わせ、以前そこにあったはずのものをもう一度再現するように制作しました。

今回もたくさんの方のお力を借りて、楽しく作品を創造することができました。ありがとうございます。

略 歴

- 2006 「カリヤファンタジー計画」(刈谷市美術館/愛知)
- 2011 「キオクノ山 蒐集記」(奈義町現代美術館/岡山)
- 2014 絵本『月へ行きたい』たくさんのふしぎ傑作集(福音館書店出版)
- 2016 「美作三湯 芸術温度」(湯原温泉/岡山)
- 2017 「SAKU islands in Gludstede モニュメント制作」(Gludstede/デンマーク)
- 2019 「しだみ古墳群にミュージアム モニュメント制作」(名古屋/愛知)

ゆばら湯っ足り広場

☎0867-62-2011

湯原温泉の玄関口に位置する足湯公園。総幅延長約26mを誇る足湯。山々に抱かれ清流のせせらぎを聞きながら、源泉かけ流しの「はんざき足湯」でほっこり癒やされる癒いの広場です。



池田屋 河鹿園

☎0868-52-0221

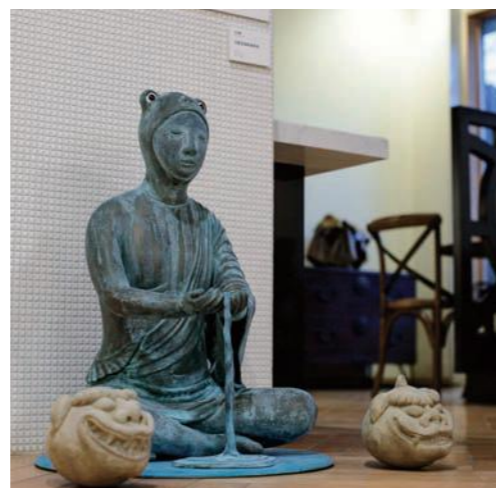
源泉掛け流しの温泉から見渡す吉井川の景色は絶景。吉井川のせせらぎと湯が身も心も癒やしてくれます。



元禄旅籠 油屋

☎0867-62-2006

元禄元年以来300年に渡るその歴史あるお宿。「千と千尋の神隠し」のモデルのひとつとも言われています。



《河鹿美湯蛙湯掛姿》



《はんざきさん湯冷め姿》



左上《ハンザキ福ダルマ》 右上《はんざきさん湯冷め姿》
下《はんざき地蔵》

宮崎 郁子

みやざき いくこ



温泉とバリ風の宿「我無らん」の組み合わせは、エゴン・シーレをテーマにしている私にとっては難題でしたが、シーレの身体表現がバリ舞踊の型であることが判明したり、湯治に来たシーレの妻エディットという設定も少し哀愁を帯びた女性一人旅にすり替わり、湯原にすっかり馴染みました。湯原ダムの冠を付けてバリ舞踊を踊るシーレも湯原の人気者になったようです。本当にありがとうございました。

略 歴

- 2010 グループ展「Decadence Now !」(Galerie Rudolfinum / チェコ)
- 2011 岡山市文化奨励賞
- 2014 個展「宮崎郁子の世界」(奈義町現代美術館 / 岡山)
- 2017 個展「ひとがたのエゴン・シーレ」(カスヤの森現代美術館 / 神奈川)
- 2018 個展「闇に黙せず」(瀬戸内市立美術館 / 岡山)
- 2018 個展「Ikuko Miyazaki」(Egon Schiele Art Centrum / チェコ)



《椅子にすわったエディット・シーレ》



《6つの水指し》《Dancing Egon》

我無らん

☎0867-62-2292

パリスタイルで寛ぐ、新しいスタイルの温泉宿。全室お風呂付きで天然かけ流しの温泉を好きな時に満喫していただくことができます。



左上《Dancing Egon》 右上《ゲルティ》
下《エゴン・シーレ壁画の習作より 絵皿》

森山 知己

もりやま ともき



連綿と使われてきた素材や道具、技法を使い、絵を描くことで日本文化の良いところを探しています。個人的に、この試みが国の名前のついた「日本画」という言葉に具体的な意味を与えることのように思うのです。岡山画があっても良いし、美作画があってもよいのです。地域を見直す視線の一つとして、「日本画という考え方」が面白い、そう思う今日このごろです。

略 歴

- 1983 東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了
- 1985 東京セントラル絵画館で初個展以後、50回以上の個展を行う
- 2014 福武文化奨励賞受賞
- 2016 岡山県芸術文化賞準グランプリ
- 2016 第13回マルセン文化賞（特別賞）
- 2019 山陽新聞賞【文化功労】

グループ展出品、美術館企画展出品、講演、ワークショップ講師等多数

季譜の里

☎0868-72-1523

石畳のエントランスを抜けると視界に入るのは野山の木々が彩る独創的な活け花。微かに漂うお香は白檀で、ワンランク高い香りに魅了されます。



《緋鯉図屏風》



《流水紅白梅》



左上《龍門鯉魚図》 右上《水の記憶》
下 《花卉草木格天井屏風》

山部 泰司

やまべ やすし



この展覧会のために「山水八景」という湯原温泉と山水画の世界を結びつけた作品を描きました。今回は女将にお許しいただき今まで飾られていた作品を片付けて私の作品 60 点で空間を構成することができました。湯原温泉八景の時間の流れの中で、そこで働く皆様や訪れたお客様が主役になれるような展示を楽しんでいただくことを願いました。温泉とアートの力が出会い、美術が息づく貴重な機会をいただいたことに感謝しています。

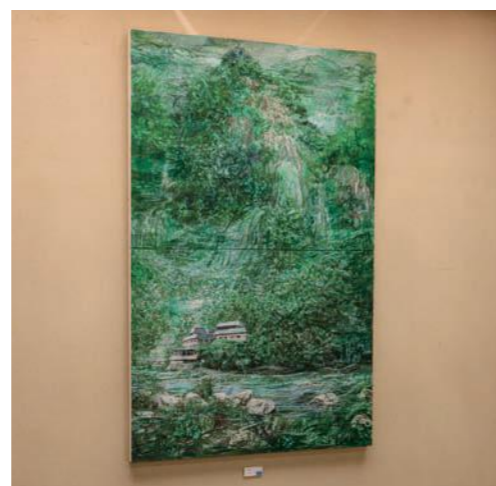
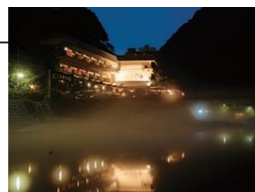
略 歴

- 2016 「山部泰司展—ここからはじまる風景画—」(奈義町現代美術館/岡山)
- 2017 第30回京都美術文化賞
- 2017 第3回総社芸術祭 2017 (宝福寺/岡山)
- 2018 「第五回新朦朧主義 (2013 - 2018)」(北京清華大学美術館/北京)
- 2019 「生きてゐる山水-廬山をのぞむ古今のまなざし」(岡山県立美術館/岡山)
- 「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」(国立国際美術館/大阪)
- 「アートの今・岡山 2018」展 (天神山文化プラザ、高梁市歴史美術館、華鶴大塚美術館を巡回)

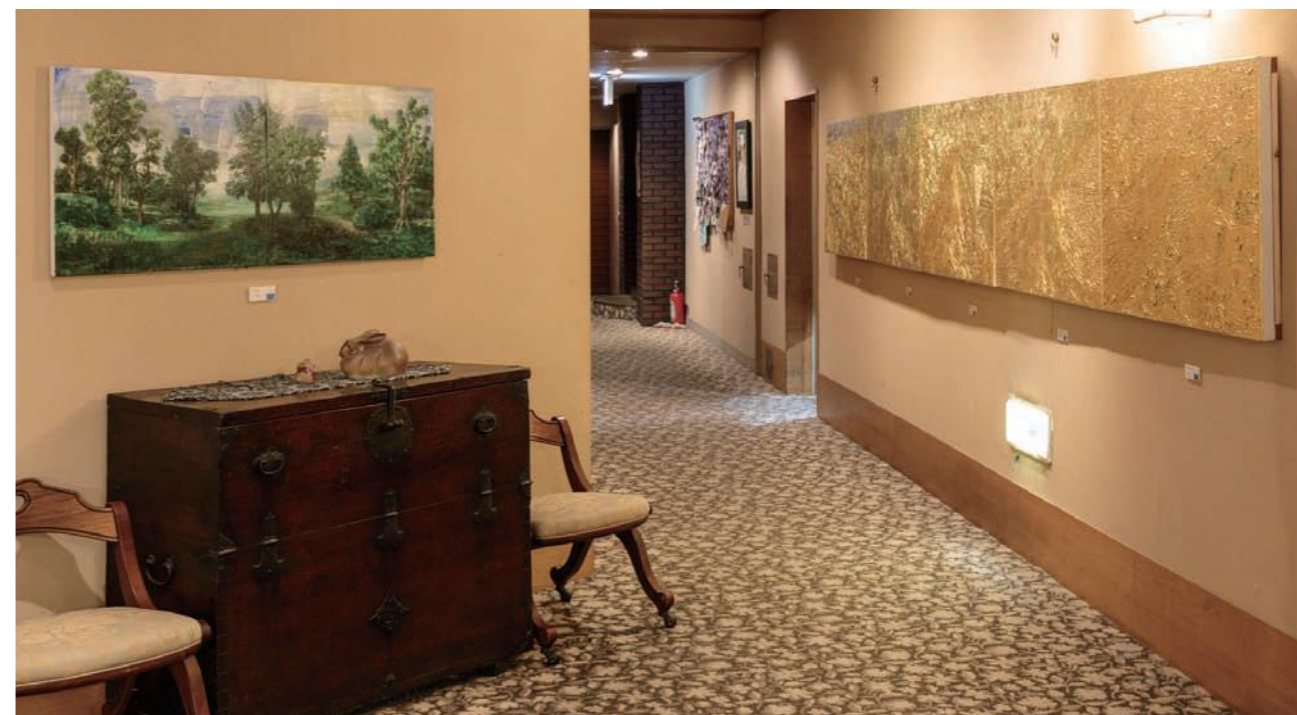
八景

☎0867-62-2211

里帰りするようにフレンドリーで美味しい、楽しい旅館。野菜好きな方や『食』が目的の旅の方に人気です。



《山水八景》



上 《風景画・奈義パノラマ》会期中改題《風景画・旅パノラマ》
下左《光の境界》 右奥から《GOLD PAINYING No.150,148,149,147,151》

デザイン

メイン：宮迫 一葉 ロゴ：横田 久美子



《フライヤー》



《ハンドブック》



《ロゴ》

美作三湯芸術温度【第2回】

主催：岡山県

会期：2019年10月5日(土)～2020年1月13日(月)

会場：美作三湯の宿泊施設等25か所

展示作品集2019

発行：岡山県 環境文化部 文化振興課

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6

TEL：086-226-7903 FAX：086-233-5720